



# トップ直撃インタビュー

## エースコック

### 村岡寛人社長

#### 創立70周年を迎え新体制がスタート

【大阪】エースコックは、3月に村岡寛人社長(写真)が就任。新体制がスタートした。今年創立70周年を迎えた同社の、取り組みと今後の展開について、話を聞いた。

(聞き手 赤松裕海)

#### 望 社長就任の所感と展

70周年を迎えた年に30年ぶりの代表交代となり、責任の重さを感じている。経営体制も新しく生まれ変わり、新しいエースコックをつくるチャンスと捉えている。仲間とともに新しい時代を作っていきたい。

一方、企業スローガンの「Cook happiness」は、この先何年経っても変わらない。「おいしいしあわせつくりたい」という変わらない精神を守りながら、新しい時代の可能性を追求していく。

市場環境は、先が見えない難しい時代だが、即席麺はどのような時代にも対応できる分野だと考える。現状は多様

#### 攻めの商品展開で新たなカテゴリーにも挑戦

守りの消費では、「スープはるさめ」や「わかめラーメン」が健康感から根強い支持がある。低糖質や減塩、グルテンフリーではフォーなどの商品で、健康ニーズに応える。

「わかめだらけの海藻フェス」を発売し、SNSでも好評を得た。今年新しいカテゴリーへの挑戦も多い

「春雨を使った本格中華のカップ麺」という、伝えたいコンセプトがある程度伝えられたかと思う。春雨は健康感があるが、それだけではターゲットが限られてしまう。新たなカテゴリーを提案することで、これまでとは別のセグメントを狙った。味の評価もよく、目標のカバー率に届いたが、コンセプトを理解して取り扱っていただいたという手応えを得ている。

アイディアがあってもスペースがなく、商品展開できないこともあった。実現したいことができるよう、商品開発にもプラスとなる設計を考えている。

今年4月に部分稼働する予定で、稼働と共に更に新しいチャレンジをしていきたい。業界の中長期的な展望

コストパフォーマンスでは、「スーパークップ」がこの数年好調に推移している。発売時から変わらないコンセプトとして、量だけではなく、味もしっかりとおいしい商品を買っており、近年の値上げ環境のなかでも支持されている。

「スーパークップ」(35周年)「わかめラーメン」(40周年)「ワンタンメン」(60周年)「飲み干す一杯」(20周年)「モッチッチ」(スー

「スーパークップ」(35周年)「わかめラーメン」(40周年)「ワンタンメン」(60周年)「飲み干す一杯」(20周年)「モッチッチ」(スー

今年4月に部分稼働する予定で、稼働と共に更に新しいチャレンジをしていきたい。業界の中長期的な展望

今年(12月期)は、国内外ともに過去最高の売上高になる見通し。来年は更に拡大し、新工場での挑戦へと繋げていきたい。



関東工場 完成イメージ図

で、各社の技術力は高く、新しいカテゴリーの開拓や様々な挑戦で別のニーズに応えていけると思う。

カテゴリーの境があいまいになり、これからは即席麺の分野を越えて商品開発をしていくことになるのではないかと。即席麺という意味での数量減があっても、次の何かのカテゴリーで成長していければよいし、それを先頭に立ってやっていきたい。様々な場所で、即席麺の技術を活かしていければと思う。

来年の目標 今年(12月期)は、国内外ともに過去最高の売上高になる見通し。来年は更に拡大し、新工場での挑戦へと繋げていきたい。